

番組「ニュース女子」に関する当社見解

1月2日に放送されました、番組「ニュース女子」で沖縄米軍基地反対運動について取り上げました。放送後より、番組内容について多方面から虚偽である、捏造である、沖縄ヘイトである、人種差別である等々の批判が寄せられました。

本番組については、2月10日のBPO放送倫理検証委員会の討議において、審議入りが決定しました。当社は、同委員会の調査に協力しており、同委員会の討議及び審議結果を尊重するため影響がおよばないよう、当社見解の発表を控えておりました。しかしながら、この間、一部報道機関において、本番組が捏造・虚偽である、沖縄ヘイトである、人権侵害であるなど、本番組の内容や事実、当社が本番組を放送した意図と大きくかけ離れた報道等がなされている現状に鑑み、BPO放送倫理検証委員会の審議結果を待たずして、本番組に関する当社の見解を、以下のとおり公表することといたしました。

本番組は、沖縄県東村高江区のヘリパッド建設反対運動において、一部の過激な活動が地元住民の生活に大きな支障を生じさせている現状等、沖縄基地問題において、これまで他のメディアで紹介されることが少なかった「声」を、現地に赴いて取材し、伝えるという意図で企画されたものであり、当社としてもこの問題に関する議論の一環として放送したものです。

当社では、本番組の放送後、視聴者の方々等から寄せられた指摘等を踏まえ、本番組の内容について調査、確認を実施した上で、本番組について次のとおり考えるに至っております。

- ①番組内で使用した映像・画像の出典根拠は明確でした。
- ②番組内で伝えた事象は、番組スタッフによる取材、各新聞社等による記事等の合理的根拠に基づく説明であったと判断しております。
- ③上記①及び②のとおり、事実関係において捏造、虚偽があったとは認められず、放送法及び放送基準に沿った制作内容であったと判断しております。
- ④本番組は、当社が直接関与しない制作会社で制作された番組を当社で放送するという持込番組に該当しますが、当社は、放送を行った点において放送責任を負う立場にあり、持込番組であっても内容のチェックを行っています。しかしながら、本番組では、違法行為を行う過激な活動家に焦点を当てるがあまり、適法に活動されているの方々に関して誤解を生じさせる余地のある表現があったことは否めず、当社として遺憾と考えております。
- ⑤番組の考査体制に関し、より番組内容のチェックレベルを向上させるため、考査手順、考査体制に関し更なる検討を行います。
- ⑥再取材、追加取材をもとに番組を制作し、放送致します。調査及び取材を丁寧に実施するため、数か月の制作期間を経て放送することを予定しています。

当社は、駐留米軍基地に反対の立場の方が多数おられる一方で、駐留米軍基地との共存を容認する立場の方も数多くおられることにも十分に配慮しつつ、取材を継続して参りたいと考えております。

当社としては、引き続き放送法・放送基準を遵守し、様々な視点から取材を行い、公平・公正な番組を制作して参ります。